

校 園 長 室 か ら



学 校 教 育 目 標

共 に 学 び 共 に 伸 び る 子 ども

- ・いのちを大切にできる子ども
- ・だれとでも仲良く協力し合う子ども
- ・意欲をもち学習する子ども
- ・ねばり強くはたらく子ども

令和 6 年 8 月 1 日 第 16 号

100年

夏休みが進んでいます。いかがお過ごしでしょうか。

パリ五輪が開催されて、わいわい大騒ぎですが、なんともしっくりこない。時差の関係で競技が始まるのが夕方から。盛り上がってくる頃、老人性の眠気が襲ってきて就寝。目覚めると早朝五時。あわててテレビをつけると競技が終わっていて、有難迷惑の「速報」と称して結果が飛び込んでくる。

ただ、開会式には、この老人性の習性が役に立ちました。

早朝にテレビをつけると、まさに聖火点灯のシーン。これは感動しました。最後にエッフェル塔で歌う歌姫の『愛の讃歌』を聞いて自然と涙がこぼれました。ちょうど100年前にもパリで五輪が開かれたとか。

100年で言えば甲子園球場も開場100周年だとか。

100年前は1924年。その1924年生まれの人の中に越路吹雪さんを見つけました。私の知る『愛の讃歌』はこの人の歌うもの。不思議に縁を発見して少し興奮しました。

さらに100年つながりで、随分昔に南米文学の最高峰といわれる、ガルシア＝マルケスの『100年の孤独』という小説を買ったままで読まずに本棚に飾っていました。これをこの夏休み読んでみようかと計画を立てたのでした。

ところが最近この『100年の孤独』が文庫本になって売れまくっているとか。ブームになる前は、数件の本屋を回っても手に入らなかったのに、今では縦積みになって転がっています。

週刊誌などもそれを話題にしたりして大騒ぎ。不思議とこうなると読書の意欲が低下。……読みづらいのもあるのですが。

さあ、残りの夏休みで読破できるのか。高校野球も始まるしなあ。